

事業所名

放課後等デイサービス ぽっぱ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

1 月

6 日

法人（事業所）理念		法人：ライフステージが変わっても必要な時に必要な支援が提供出来るように。支援が輪になるように。 事業所：ひとりひとりの小さな「出来た」を大事にし、大きな「出来た」になるよう支援をしていきます。子供、保護者、支援者みんなの笑顔を大事にしていきます					
支援方針		勉強・交通ルール・マナー・挨拶・時計の見方など日常生活に必要な能力の啓発。各個人に寄り添った支援を行っています 併設の就労移行支援事業所にて「働く」のイメージ作りを小学部の頃から意識出来るよう支援をしていきます					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●食事、排泄、衣類の着脱など、日常生活動作（スキル）について、スモールステップ、繰り返しの支援で身辺自立を促します ●定期的な心身の把握（毎日の観察・面談、個別活動） ●持ち物の管理、道具や玩具の用意と片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援を行います ●支援者やお友達とのやりとりを楽しみながら安心して過ごせる場を提供します 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●着席して活動する時間と自由に遊ぶ時間を設けます ●道具を使った制作活動などを通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします ●身体を存分に動かし、身体（感覚）運動の発達に取り組みます ●細かな作業や活動を通して手や指先の細かな動きの練習をします 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●感覚の過敏性や認知の偏りなど個々の状況把握を行い、環境への配慮と行動障害への予防や適切な対応を支援します ●空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化） 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ●言葉の発達支援や文字の習得、絵カードの使用などコミュニケーション（意思伝達）における代替手段を模索し考えます ●空間・時間・数の概念を持てる学習・活動を行います 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の行動や感情に気付いたり、対処法を考えるなど気持ちのコントロールやストレスの発散方法などを考えます ●順番、交代、役割、ルールを守る、指示に沿った行動をするなど社会に適応するために必要なスキル獲得の支援をします ●小集団、集団での活動や遊びを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ●自己理解・他者理解への支援を行います 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●保護者面談（適宜） ●法人内併設部門（相談支援）との連携 ●その他関係機関との連携 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じ、学校の様子の見学、先生と様子や支援方針についての情報共有を行う 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●各関係各所との連携（相談支援事業所、学校、障がい福祉サービス事業所など） ●児童通所連絡会への参加 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●内部研修（月1回） ●外部研修（適宜参加） ●定期的なスタッフ会議の実施 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ●季節にちなんだ制作活動やイベント行事 ●避難訓練 					